

～保護者の皆様、生徒諸君へ～

 <p>TEAM MINAMI 50</p> <h1>菁莪育才</h1>	<p>第 50 号</p> <p>山梨県立甲府南高等学校 第 3 学年（文責：崎田） 平成 27 年 3 月 1 日発行</p>
---	--

☆ 第50期生の門出に際して…

高校時代、いわゆる劣等生だった私は、大人になっていく過程で多くの人に支えられ、多くの言葉に助けられてきたような気がします。もちろん、その全てが私に対して「優しかった」わけではなく、ときには「反発を感じた」ものもあったわけですが、振り返ってみると今の私の「実」になっているものばかりであるような感じがしています。

中でも私にとって、最も大きな影響を与えたのは、良きにも悪きにも、父親の存在でした。

父は、よくよく考えると優しかった面もありましたが、典型的な昭和一桁生まれの人間でした。誉められた覚えはあまりありません。容易に思い出すのは「苦勞をかけたこと」「叱られた記憶」です。名前と呼ばれたこともあまり記憶にありません。ほぼ「坊主(ぼうず)」「小僧(こぞう)」でした。

私が生まれた当時、そんな父は開校当初の甲府南高校に勤めていました。通算で3度、本校に勤務した父にとって、本校は最も愛着のある学校でした。その学校に私が籍を置き、「第 50 期」という節目の学年を預かることになったことに、何か縁を感じてきました。

父とは遂にゆっくり話をする機会も、酒を酌み交わす機会もありませんでした。だから、このたび第 50 期生の卒業を見送り、大学受験も一段落する所に「この3年間、どうだったかな？」と問いかけてみたいと思います。（「坊主、まあ一杯飲め…」と言ってくれることを想像しながら…）

< 私事を熟々と書き、申し訳ありません。お許しください。 >

さて、いよいよ卒業のときが訪れました。

保護者の皆さんにおかれましては、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。「皆さんの宝を皆さんとともに育てていきたい」…あの入学式の日から3年が過ぎます。この間、学年の取り組み等について御理解、御協力をいただいたことを深く御礼申し上げます。

そして第50期生275名の諸君、卒業おめでとう。皆と過ごした3年間は我々にとって何にも代えがたい「宝」です。これから皆が年令を重ねていく中で、いずれ「甲府南高校で良かった」「あの学年で良かった」と心から感じてくれるとき、我々はそのことを素直に喜びたいと思います。

どうか、学ぶ姿勢を大切に。そして、芯の通った品格を備えるとともに柔軟に人と向き合える人間性を以て、いつでも周囲に感謝する気持ちを忘れずに…。また会える日を楽しみにしています。

末尾になります。第 50 期生の卒業に際して、餞の言葉を贈りたいと思います。…と言っても、私自身は「気の利いた言葉」を持ち合わせておりませんので、父が常々口にしていましたもので、私が今でも大切にしている言葉をここに紹介し、第 50 期生 275 名への餞にしたいと思います。

当たり前のことができる人間 「傍観」より「実行」する人間こそ
誇りと生きがいを大切に作る人生を 自由に選択できる。

ありがとうございました。

☆ TEAM MINAMI 50…正担任・副担任からの餞の言葉…

<p>1組正担任 三間 裕之 (英語科) 3年間、色々学んだと思いますが、これからが、本当の学びのシーズンだと思います。頑張ってください。 卒業おめでとう！</p>	<p>1組副担任 中村 勉 (国語科) 卒業おめでとうございます。 偶然出会うことが人生にとって大きな意味を持つことがよくあります。出会いの感度を落とさずに。</p>
<p>2組正担任 数野 優 (地理歴史科) 卒業おめでとう。 今後は高校時代より大変なことが多いかもしれないけど、その分楽しい事も多いです。常に前を向いてファイト！</p>	<p>2組副担任 仲山 文昭 (理科) 卒業おめでとう！高校時代に会った友人は、これからも一緒に年をとって、一緒に成長していける貴重な存在です。大事にしてください。</p>
<p>3組正担任 野澤 香穂 (保健体育科) どんなときも笑顔を忘れず、素直に、謙虚に、そして前向きに。3年間で学んだことを忘れずに自分の道を歩んでいってください。卒業おめでとう！そしてありがとう！</p>	<p>3組副担任 高橋 正文 (数学科) 卒業おめでとうございます。人は感動するために生きている。「Frontier Spirit」のもと、自ら人生を切り拓き、大いに活躍されることを期待します。</p>
<p>4組正担任 白田 晶人 (理科) 卒業式を迎えても、これまでも、これからも、1歩1歩前に進むことは変わりません。紆余曲折の人生も、自分だけが切り拓けるのです。広い世界にいざ羽ばたかん。ご活躍を！</p>	<p>4組副担任 坂田 梨紗 (英語科) 卒業おめでとう！南高で過ごした日々を胸に、これからの人生を切り開いてください。The best thing is yet to be. (最上のものはこれから訪れる。) 未来を信じて！</p>
<p>5組正担任 堀内 通之 (数学科) 何をしているときが一番幸せなのかを常に自分に問いかけつつ生きていこう。生きていること自体が奇跡。一瞬一瞬を噛みしめながら生活すれば、きっといいことあるよ！</p>	<p>5組副担任 深沢まゆみ (英語科) Carpe deiem (カルペ・デイエム) —その日を摘め— 満足のいく一日の積み重ねが人生。 今日という日を大切に！ 卒業おめでとう！</p>
<p>6組正担任 久保田公博 (理科) 卒業おめでとう。禍福は糾える縄のごとし、今後の人生良いことも悪いことも色々あると思いますが、自分の信じる道を歩んで下さい。皆さんの人生に幸あれ！</p>	<p>6組副担任 小林 玲子 (国語科) ～昨日から学び、今日を生き、 明日へ期待しよう (アイシユタイン)～ だれのものでもない、あなたの人生 勇気を持って、あなたらしく！！</p>
<p>7組正担任 田野口垂矢 (数学科) 高校3年間は一瞬ですが、一生懸命に生きた一瞬には大きな価値があります。 これから長い人生、みんなの活躍を楽しみにしています。</p>	<p>7組副担任 野田 光美 (保健体育科) 卒業おめでとう。精一杯の努力、精一杯の情熱をもって、1日1ミリの精神で前へ突き進むことを期待しています。しっかりと土に根をはわせてください。</p>

学年通信「菁莪育才」は、第50期生が甲府南高校を卒業する本日、第50号を以て最終号とさせていただきます。保護者の皆様には、3年間、最後までお読みいただきましたことを感謝申し上げます。

第50期生275名が10年後、20年後…、明るく爽やかに、それぞれの立場から社会の一翼を担う人材として活躍してくれることを心より祈って、結びと致します。本当にありがとうございました。